

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	書写・106 書写・206 書写・306 書写・406 書写・506 書写・606	新編 あたらしい しよしゃ 一 新編 新しい しよしゃ 二 新編 新しい 書写 三 新編 新しい 書写 四 新編 新しい 書写 五 新編 新しい 書写 六
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～とめ、はね、はらいなどの点画の書き方に気を付けて書いたり、整った文字を書くための書き方を考えたりする活動を通して、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書く活動</p> <p>第3,4学年～文字の大きさと字間に気を付けて書いたり、行の中心を整えて書くため書き方を考えたりする活動を通して、漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く活動</p> <p>第5,6学年～横書きの行の整え方を確かめて書いたり、場面に合わせて書く速さを考えたりする活動を通して、用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書く活動</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～点画それぞれの書き方や筆圧に注意して書いたり、点画の長さや間隔などを考えて書いたりする活動を通して、毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書く活動</p> <p>第5,6学年～点画のつながりを意識して書いたり、文字と文字のつながりを考えて書いたりする活動を通して、毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く活動</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～点画の種類や書き方、左右の部分の組み立て方など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動</p> <p>第5,6学年～筆順と点画の接し方、用紙に合った文字の大きさなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～「見つけよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「しよしゃのかぎ」（第2学年）を参考にして整った文字の書き方について考えたり、画の方向や間隔を確かめながら書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～「見つけよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、点画の書き方について筆圧を中心に話し合ったり、「書写のかぎ」（第3学年）を参考にして毛筆や鉛筆で文字を書いて確かめたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～「見つけよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、次の文字に向かう動きについて考えたことを話し合ったり、「書写のかぎ」（第6学年）を参考にして毛筆や鉛筆で文字を書いて確かめたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>			

<p>内容の構成・排列，分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～平仮名や片仮名について，「とめ，はらい，はね」などの点画の書き方を確かめた後に，漢字の点画の書き方や字形に気を付けて書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～漢字について，筆順や画の長さ，方向，つき方などを確かめた後に，文字の外形や中心を考えながら書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～毛筆について，1字の漢字の点画の書き方，筆圧を確かめた後に，2字の平仮名の送筆部分の丸みを考えながら書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～毛筆について，1字の漢字の画の長さと同隔，方向を確かめた後に，2字の漢字の筆順と字形，漢字の組み立て方を考えながら書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～文字の組立て方や配列などを確かめた後に，目的に合った筆記具を選択し，様々な用紙に書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～点画のつながりや書く速さ，文字の組み立て方を確かめた後に，用紙に合った文字の大きさと余白，位置を考えて書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については，次のようになっている。</p> <p>第1学年～硬筆の指導事項アは25ページ，指導事項イは21ページ，指導事項ウは4ページ，総ページ数は52ページで，前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第2学年～硬筆の指導事項アは18ページ，指導事項イは16ページ，指導事項ウは13ページ，総ページ数は48ページで，前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第3学年～硬筆の指導事項アは13ページ，指導事項イは6ページ，指導事項ウは8ページ，毛筆の指導事項アは10ページ，指導事項イは4ページ，指導事項ウは10ページ，総ページ数は58ページで，前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第4学年～硬筆の指導事項アは12ページ，指導事項イは5ページ，指導事項ウは8ページ，毛筆の指導事項アは9ページ，指導事項イは3ページ，指導事項ウは10ページ，総ページ数は54ページで，前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第5学年～硬筆の指導事項アは14ページ，指導事項イは10ページ，指導事項ウは4ページ，毛筆の指導事項アは11ページ，指導事項イは8ページ，指導事項ウは4ページ，総ページ数は54ページで，前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第6学年～硬筆の指導事項アは11ページ，指導事項イは8ページ，指導事項ウは6ページ，毛筆の指導事項アは9ページ，指導事項イは9ページ，指導事項ウは3ページ，総ページ数は54ページで，前回とほぼ同様となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ リーフレットや実験記録の書き方など，国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載したり（第3，5学年），もののかたちからできた漢字のはなしを掲載したり（第1学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 当該学年の学びを他教科や学校生活に生かす単元「生活に 広げよう」を掲載したり（全学年），さまざまな観点から文字文化に触れるコラム「文字といっしょに」を掲載したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p>

	<p>○ 見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用したり（全学年）、全ての児童の色覚特性に適応するようなデザインにしたり（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、毛筆の準備や文字の書き方の動画を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、第6学年で郷土料理等についてのインタビューメモを作る活動が設定されており、活動を通して、自分たちの郷土を知り、愛着を感じる態度を養うことができるように工夫がなされている。</p> <p>○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、準備や片付け、毛筆での運筆や筆づかいなどのインターネットを活用したコンテンツが全学年にあり、二次元コードから読み取り、児童が主体的に活用できるように配慮がなされている。</p> <p>○ 小・中連携については、第6学年「日本の文字の歴史」において、中学校で学習する行書について触れられている。</p>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<p>○ 単元の学習で身に付けた書写の力を、日常の書く活動へ活用できるように、小単元「生活に広げよう」（全学年）において、「社会科の新聞作り」「総合のポスター」など他教科等と関連した題材が、小単元「学びを生かそう」（全学年）において、「礼状」「寄せ書き」などが題材として取り上げられている。</p> <p>○ 児童が見通しや目的意識をもって学習に取り組むことができるよう、単元ごとに学習過程「見つけよう」において課題を明確にするとともに、学習過程「確かめよう」において課題解決の見通しをもつことができる配慮がなされている。</p> <p>○ 児童が身に付けた書写の力を自覚できるように、単元ごとに、毛筆の学習での学びを硬筆に生かして確認する学習過程「生かそう」が設定されている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 第1学年、2学年の巻末に水書用紙が付属しているとともに、活用の仕方が記載されており、低学年の運筆指導への配慮がなされている。</p>

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	書写・107 書写・207 書写・307 書写・407 書写・507 書写・607	しょうがく しょしゃ 一ねん 小学 しょしゃ 二年 小学 書写 三年 小学 書写 四年 小学 書写 五年 小学 書写 六年
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～とめ、はね、はらいなどに気を付けて書いたり、どちらの形が整っているかを考えたりする活動を通して、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧を書く活動</p> <p>第3,4学年～「はらい」の方向に気を付けて書いたり、なぜ筆順どおりに書くことが大切なのかを考えたりする活動を通して、漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く活動</p> <p>第5,6学年～用紙に対する文字の大きさと配列に気を付けて書いたり、目的に合った書く速さを考えたりする活動を通して、用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書く活動</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～「横画」や「縦画」の筆使いに気を付けて書いたり、点画の接し方と間隔を考えて書いたりする活動を通して、毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書く活動</p> <p>第5,6学年～穂先の動きと、線と線のつながりに気を付けて書いたり、文字の大きさと配列、点画のつながりを考えて書いたりする活動を通して、毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く活動</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～点画の種類や筆使い、左右や上下の文字の組み立て方など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動</p> <p>第5,6学年～漢字どうしの大きさ、用紙に対する文字の大きさと配列など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～「めあて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考える」（第2学年）を参考にして画の方向の違いについて考えたり、左はらいの方向の違いに気を付けて書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～「めあて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「結び」の筆使いや形について考えたり「ここが大切」（第4学年）を参考にして「結び」の筆使いを確かめて書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～「めあて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、目的に合った書く速さについて話し合ったり、「ここが大切」（第5学年）を参考にしてメモの取り方について確かめたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>			
		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～平仮名や片仮名について、「とめ、はらい」などの点画の書き</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>方や字形を確かめた後に、漢字の点画の書き方や字形に気を付けて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～片仮名や漢字について、筆順や画の方向、長さ、つき方などを確かめた後に、文字の中心や形に気を付けて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～毛筆について、1字の漢字の点画の書き方、筆圧を確かめた後に、2字の平仮名のやわらかい筆使いに気を付けて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～毛筆について、1字の漢字の穂先の通り道や筆圧の変化を確かめた後に、2字の漢字の筆順と字形、漢字の組み立て方に気を付けて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～文字の組み立て方や大きさなどを確かめた後に、用紙に対する文字の大きさや配列を考えて、筆記具を工夫して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～文字の大きさと配列、文字の組み立て方を確かめた後に、用紙に対する文字の大きさと配列、点画のつながりに気を付けて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～硬筆の指導事項アは32ページ、指導事項イは30ページ、指導事項ウは21ページ、総ページ数は52ページで、前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第2学年～硬筆の指導事項アは21ページ、指導事項イは19ページ、指導事項ウは19ページ、総ページ数は44ページで、前回から約5%の増となっている。</p> <p>第3学年～硬筆の指導事項アは24ページ、指導事項イは13ページ、指導事項ウは9ページ、毛筆の指導事項アは13ページ、指導事項イは3ページ、指導事項ウは13ページ、総ページ数は62ページで、前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第4学年～硬筆の指導事項アは25ページ、指導事項イは16ページ、指導事項ウは12ページ、毛筆の指導事項アは16ページ、指導事項イは8ページ、指導事項ウは15ページ、総ページ数は62ページで、前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第5学年～硬筆の指導事項アは22ページ、指導事項イは10ページ、指導事項ウは22ページ、毛筆の指導事項アは15ページ、指導事項イは11ページ、指導事項ウは15ページ、総ページ数は54ページで、前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第6学年～硬筆の指導事項アは19ページ、指導事項イは10ページ、指導事項ウは19ページ、毛筆の指導事項アは15ページ、指導事項イは12ページ、指導事項ウは15ページ、総ページ数は54ページで、前回とほぼ同様となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 俳句や話し合いメモの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載したり（第3、6学年）、視写の教材として国語で学習した文学教材を掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 身に付けた書写の力を学習活動等に生かす題材「レッツ・トライ」を掲載したり（全学年）、多様な文字文化への関心を高める「知りたい文字の世界」を掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 見やすさ等に配慮したユニバーサルデザインフォントを採用したり（全学年）、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮したり（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、学習時に参照できる</p>

	<p>運筆動画等を，ウェブサイトで見られるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については，第4学年「知りたい文字の世界」の学習において，郷土かるたで「わたしたちの住む町」について知る活動から発展し，防災かるたを作る活動が設定されており，活動を通して，自分たちの郷土を知り，愛着を感じる態度を養うことができるように工夫がなされている。 ○ ICTの活用については，1人1台端末を活用した学習活動として，学習の進め方，毛筆での運筆や筆づかいなどのインターネットを活用したコンテンツが全学年にあり，二次元コードから読み取り，児童が主体的に活用できるように配慮がなされている。 ○ 小・中連携については，第6学年「はってん」において，硬筆の楷書と行書を比較するとともに，中学校で学習する行書を書く活動が位置付けられている。
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の学習で身に付けた書写の力を，日常の書く活動へ活用できるよう，小単元「レッツトライ」（全学年）において，「総合のポスター」「社会科の見学メモ」など他教科等と関連した題材が，小単元「書いて，伝え合おう」（全学年）において，「絵葉書」「卒業制作」などが題材として取り上げられている。 ○ 児童が見通しや目的意識をもって学習に取り組むことができるよう，単元ごとにめあてが明確に示されているとともに，学習過程「考えよう」において課題解決の見通しをもつことができる配慮がなされている。 ○ 児童が身に付けた書写の力を自覚できるよう，単元ごとに，毛筆の学習の前後に硬筆で書く活動が設定されており，学習の成果を実感できる配慮がなされている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年，2学年の巻末に水書用紙が付属しているとともに，活用の仕方が記載されており，低学年の運筆指導への配慮がなされている。

観 点 番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	書写・108 書写・208 書写・308 書写・408 書写・508 書写・608	しよしゃ 一ねん しよしゃ 二年 書写 三年 書写 四年 書写 五年 書写 六年
				<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～とめ、はね、はらいなどの点画の終わりに気を付けて書いたり、整った文字を書くためのきまりを考えたりする活動を通して、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書く活動</p> <p>第3,4学年～部分の組み立て方に気を付けて書いたり、文や文章を読みやすく書くための文字の大きさや配列を考えたりする活動を通して、漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く活動</p> <p>第5,6学年～場面によって、書く速さを変えて書いたり、文字の大きさや配列を考えたりする活動を通して、用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書く活動</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～「横画」や「縦画」等の筆使いに気を付けて書いたり、部分の組み立て方を考えて書いたりする活動を通して、毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書く活動</p> <p>第5,6学年～筆順と画の付き方を意識して書いたり、文字と文字のつながりを考えて書いたりする活動を通して、毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く活動</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～点画の種類や筆使い、左右や上下の部分の組み立て方など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動</p> <p>第5,6学年～点画のつながりと字形、筆順と点画のつながりなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～「導入・理解」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、整った字の書き方について見付けたり、「たいせつ」（第2学年）を参考にして画の長さの長さに気を付けて書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～「ねらい」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、穂先がどこを通るかを考えたり、「たいせつ」（第4学年）を参考にして「折れ」の筆使いを確かめて書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～「ねらい」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文字と文字のつながりが感じられる理由を話し合ったり、「たいせつ」（第6学年）を参考にして点画のつながりを意識して書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
				○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。

<p>内容の構成・排列，分量等</p>	<p>第1学年～平仮名や片仮名について、「とめ，はね，はらい」などの点画の書き方を確かめた後に，漢字の点画の書き方や字形に気を付けて書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～漢字について，筆順や点画の間，画の長さ，つき方などを確かめた後に，字の外形や中心に気を付けて書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～毛筆について，1字の漢字の点画の種類や筆使いを確かめた後に，2字の平仮名の丸みに気を付けて書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～毛筆について，1字の漢字の上下左右の組み立て方を確かめた後に，漢字どうしの大きさに気を付けて書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～文字の大きさと読みやすさを確かめた後に，文字の配列に注意して，筆記具を使い分けて書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～三つの部分をもつ漢字の組み立て方を確かめた後に，筆順と点画のつながりを意識して書く活動を取り上げるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については，次のようになっている。</p> <p>第1学年～硬筆の指導事項アは5ページ，指導事項イは24ページ，指導事項ウは3ページ，総ページ数は52ページで，前回から約8%の増となっている。</p> <p>第2学年～硬筆の指導事項アは7ページ，指導事項イは23ページ，指導事項ウは17ページ，総ページ数は44ページで，前回から約5%の増となっている。</p> <p>第3学年～硬筆の指導事項アは18ページ，指導事項イは8ページ，指導事項ウは16ページ，毛筆の指導事項アは15ページ，指導事項イは5ページ，指導事項ウは25ページ，総ページ数は66ページで，前回から約10%の増となっている。</p> <p>第4学年～硬筆の指導事項アは22ページ，指導事項イは14ページ，指導事項ウは14ページ，毛筆の指導事項アは14ページ，指導事項イは9ページ，指導事項ウは16ページ，総ページ数は54ページで，前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第5学年～硬筆の指導事項アは17ページ，指導事項イは13ページ，指導事項ウは8ページ，毛筆の指導事項アは10ページ，指導事項イは13ページ，指導事項ウは6ページ，総ページ数は50ページで，前回から約11%の減となっている。</p> <p>第6学年～硬筆の指導事項アは22ページ，指導事項イは14ページ，指導事項ウは13ページ，毛筆の指導事項アは16ページ，指導事項イは15ページ，指導事項ウは12ページ，総ページ数は58ページで，前回から約7%の増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 手紙や横書きの書き方など，国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載したり（第3，4学年），日常とのつながりが実感できる教材を掲載したり（第1学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 書写での学習を他教科に生かす教材「書写広げたい」を掲載したり（全学年），書写で学んだことを生かして日常の言葉や物語，短歌，俳句を書いて味わう「ことば」を掲載したり（全学年）するなど，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 読みやすさを考慮して独自に開発したオリジナルの教科書体を使用したり（全学年），色覚の多様性に配慮し，誰もが識別できる配色にしたり（全学年）するとともに，二次元コードを掲載し，筆使いを確かめる動画</p>

	やアニメーションを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
指導上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については，第4学年で伝統工芸のよさを伝えるリーフレットを書く活動が設定されており，活動を通して，自分たちの郷土を知り，愛着を感じる態度を養うことができるように工夫がなされている。 ○ ICTの活用については，1人1台端末を活用した学習活動として，準備や片付け，毛筆での運筆や筆づかいなどのインターネットを活用したコンテンツが全学年にあり，二次元コードから読み取り，児童が主体的に活用できるように配慮がなされている。 ○ 小・中連携については，第6学年「発展」において，毛筆の楷書と行書を比較した記載がある。
本市児童の 学習の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の学習で身に付けた書写の力を，日常の書く活動へ活用できるよう，小単元「書写広げたい」（全学年）において，「理科のノート」「英語のカード」など他教科等と関連した題材が，「書写ブック」（第6学年）において，「新聞」「ポスター」などが題材として取り上げられている。 ○ 児童が見通しや目的意識をもって学習に取り組むことができるよう，単元ごとにめあてが明確に示されるとともに，学習過程「考えよう」において課題解決の見通しをもつことができる配慮がなされている。 ○ 児童が身に付けた書写の力を自覚できるよう，単元ごとに，毛筆の学習での学びを硬筆に生かして確認する学習過程「生かそう」が設定されている。
その他	○ 第1学年，2学年の巻末に水書用紙が付属しているとともに，活用の仕方が記載されており，低学年の運筆指導への配慮がなされている。